

健診センターニュース 第19号

俳優の大杉漣さんが66歳という若さで突然亡くなられたことは、みなさんまだ記憶に新しいと思います。死因は「急性心不全」、腹痛を訴えて数時間後のこととされています。突然のことに、家族や周囲のショックは相当であったと推察されます。

「心不全」という言葉を知っている方は多いと思いますが、正しく知っている方は少ないようです。実は病名ではなく、心臓の機能が低下し体に十分な血液が送り出せなくなった状態のことを言います。

近年、高齢化を背景に心不全が増えています。しかし、心不全には様々な要因があり、若い人にも起こりますので油断はできません。

心不全は通常数十年かけてじわじわと進行します。初期は自覚症状がなく、進行すると改善が難しくなります。突然死につながる場合もありますので、早期発見・早期治療が大切になってきます。この早期発見に役立つのが、「BNP検査」です。

BNPとは、心臓を守るために心臓（特に心室）から分泌されるホルモンで、血圧を低下させ利尿を促し、さらには心臓の肥大や線維化を抑えるという「心臓を守る（心保護）」作用があります。このホルモンが多く分泌され数値が高くなるほど、心臓の機能が低下して心臓への負担が大きいということになります。心電図や他の検査と併せて調べることで、心不全の早期発見につながります。

また、BNP検査は自覚症状がでる前から血中濃度が上昇することが証明されていますので、心機能低下の早期発見につながると考えられます。まだ自覚症状のない『かくれ心不全』を早期に発見するため、心臓病が心配な方、その他のリスクがあるといった方も、一度BNPで“心臓の元気度”を調べておきましょう。

BNP検査 1,620円（税込み）

～こんな方におすすめです～

- ・ 高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病のある方
- ・ 喫煙者
- ・ 肥満、運動不足
- ・ ストレスが多い人
- ・ 家族に心臓病の人がいる方



5月31日～6月6日は“禁煙週間” ～「望まない受動喫煙」をなくそう～



喫煙はタバコを吸う人だけでなく、周りにいる人にも悪影響を及ぼします。自分は吸わなくてもタバコの煙を吸ってしまう受動喫煙。これにより、様々な病気にかかる人が毎年報告されており、世界的な問題となっています。

5月31日は世界禁煙デーです。タバコが及ぼす害や受動喫煙の危険についてのイベントが世界中で行われます。当院でも、啓発リーフレットの配布や模型の展示などを行います。呼気中の一酸化炭素濃度を測れば、タバコを吸っていない方でもどのくらい煙を吸っているかを計ることができます。ぜひ気軽にお立ち寄りください。

また当院では禁煙外来を行っています。私たちがサポートします。一緒に禁煙に向けての第1歩を踏み出してみませんか！

～お知らせ～

赤十字健康生活支援短期講習を開催します。今回は“認知症”についてのお話です。

認知症は今やとても身近な病気です。2025年には認知症患者は700万人を超え、65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。自分や家族がなるかもしれない認知症。基礎を学び、理解を深めましょう。

日時：平成30年5月23日（水） 13時～14時

場所：舞鶴赤十字病院 東館講堂

講師：赤十字健康生活支援講習指導員 吉川久美子

健診のご予約・お問い合わせは下記までお気軽にお電話ください。

〒624-0906

舞鶴市字倉谷427 健診センター

TEL(0773)75-1920

FAX(0773)75-7380

月～金 8:30～17:00

（土・日・祝日・年末年始12/29～1/3・創立記念日

6/1はお休み）